

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」(平成17、18年度採択)

中間評価結果(公表用)

番号	研究課題名	研究代表者	評価
	市民参加型交通安全対策・評価システムの実用化に関する研究開発	日本大学 教授 高田 邦道	B

< 研究継続の妥当性評価 >

- ・ 汎用性の高い対策支援システムを構築するため、引き続き関係各機関との連携を図りつつ、指摘事項に留意しながら、計画通り研究を継続することが妥当である。

< 今後の研究計画・方法への指摘事項 >

1. 対策支援システムのどの部分が新たな研究成果であるかを明示して頂きたい。また、各市の特性に応じた問題や課題を整理し、その整理を踏まえた他地域への適用性や一般化について十分な検討をお願いしたい。
2. 対策支援システムの機能として、交通安全対策の実施結果をフィードバックする仕組みをシステムに追加することを考慮して頂きたい。
3. 対策支援システムの導入による事故削減効果を取りまとめるなど、導入の具体的な効果を整理して頂きたい。